

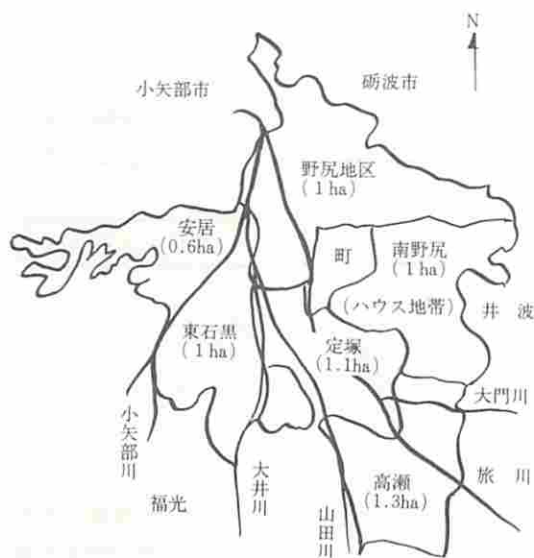
「ミニドック検診を実施して」

福野町農業協同組合

生活指導員 向井花子

福野町は、人口16,000人余りの小さな町で、砺波平野のほぼ中央に在り庄川、小矢部川の一つの複合扇状地である。農家1戸当りの平均耕作面積は、1haで、水稻が主で、他の作物としては、里芋、球根、ハウス野菜（トマト、胡瓜）、畜産があります。又、同町内には、川田工業、トヤマキカイ、三共アルミ等の企業があり、早くから兼業化が進んでおり、今ではハウス農家以外はほとんど農外就労に出て農作業は殆んど主婦の手にゆだねられております。

(福野町地区分布と平均耕作面積)



この様な状況の中で農村婦人の健康、又、ハウス園芸農家の健康を考え、いつまでも健康で楽しい人生を過ごしてもらう為に私達が

組織を挙げて取り組む事が急務とされております。今までも検診を実施し、健康生活への指導と、疾病の早期発見に努めるようにして来ましたが、その後の指導、追究調査が十分でない反省を踏まえて、昭和52年度より検診活動の内容充実、特に事後指導の徹底を図り、心身共に健康な農村作りを目標に活動を開始しました。

まず52年度は、厚生連のミニドック検診を149名実施致しました。実施するに当り、町保健婦、保健所保健婦、農業改良普及員、農協の4者の意見を総合して次の事を決めました。

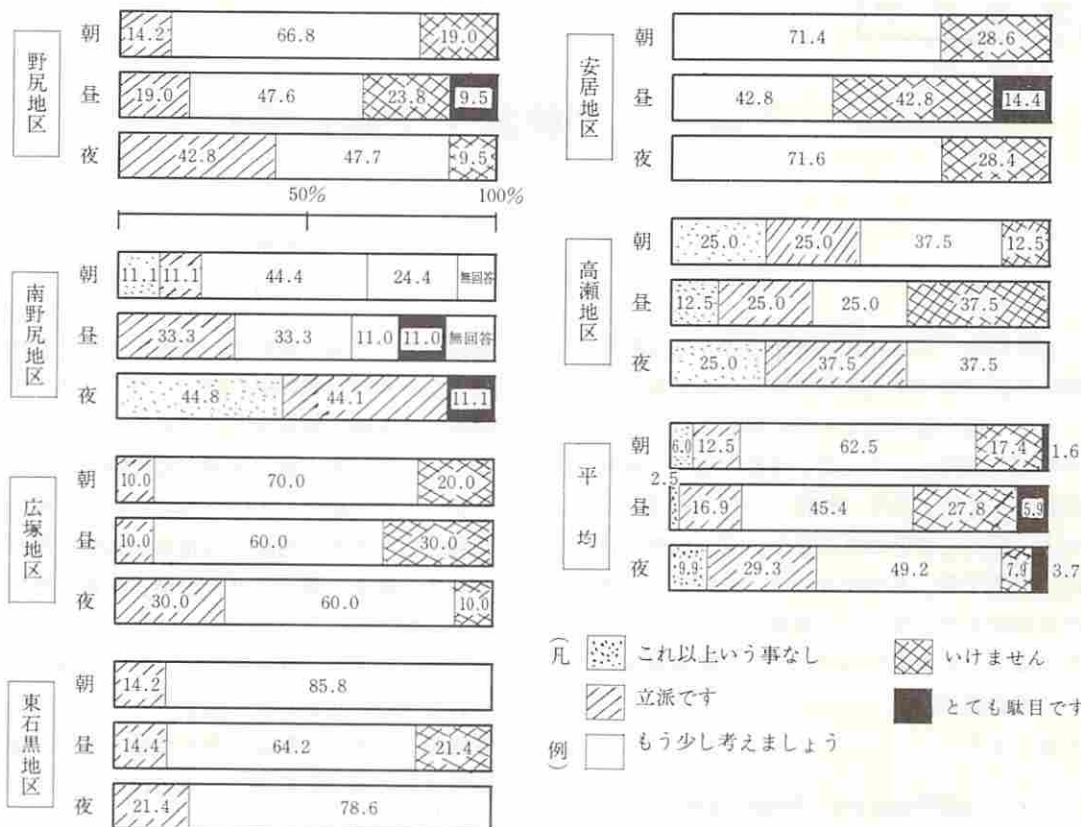
第1には実施日や会場は、町で計画した胃ガン検診に出来るだけ合わせ受診者の負担を少なくする事（胃ガン検診もミニドック検診も空腹にして実施する事が条件である為）同日、実施計画をどのようにするか話し合った。

第2は、要精検判定の人については保健婦による個別訪問指導を行ない、必ず精密検査または治療される様にした。その結果、22人全員が再検査を受けており、そのうち2人が入院し治療を受けております。又(B)判定の内容は血液中の高コレステロール、中性脂質に関する異常が多く、これは食事による影響が大きい事から、婦人学級や部落学習会では栄養知識の普及を図り、塩分の取り過ぎを防ぐ様、指導しております。

次表は各地区婦人学級、部落学習の際調査をしたものです。

今回の実施で痛感したことは、農協組織と

地区別栄養診断結果 (52.7 実施分)



凡 ()

- これ以上いう事なし
- いけません
- ▨ 立派です
- とても駄目です
- もう少し考えましょう

みそ汁中の塩分比重調査結果 (52.11実施分)

野尻地区

(A) 33%	(B) 43%	(C) 19%	(D) 5%
---------	---------	---------	--------

南野尻地区

(A) 14%	(B) 33%	(C) 53%
---------	---------	---------

広塚地区

(B) 40%	(C) 40%
---------	---------

東石黒地区

(A) 68%	(B) 16%	(C) 16%
---------	---------	---------

安居地区

(A) 50%	(B) 33%	(C) 17%
---------	---------	---------

高瀬地区

(A) 34%	(B) 44%	(C) 22%
---------	---------	---------

- (A) 比重 1.010~1.015
- (B) 比重 1.016~1.020
- (C) 比重 1.021~1.025
- (D) 比重 1.026以上

行政機関とが連携を取りながら進めて行かねばならない事、また結果から見て、食生活指導をもっと強化しなければならない事、特に緑黄色野菜の有効摂取、牛乳、食油の摂取不足、昼食における食品のバランス、目に見えない塩分の過剰摂取等であった。

行政機関と一体になって検診を実施してみると、受診者は2度のものを1度で済ます事が出来る(3会場中2会場実施出来た)。

第2に、受検者には待ち時間を減らし検診がスムーズに行なわれるよう各自の作業分担を明確にした。

第3に、実施地区は福野町一円であったが、人数の都合等もあり、3会場を設定したため会場外地区の受診者には町のマイクロバスをチャーターしてもらい会場まで送迎してもらうことができた。

第4に、検診の結果が出たら連絡会を必ず行ない、皆んなで検討し、事後処理、指導策を決めた。

以上のことを決め実施した結果が次の表です。

ミニドック検診結果年齢別集計表 (52.5)

年齢	20~29		30~39		40~49		50~59		60~69		計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
A		2	5	8	5	20	6	25	4	1	76
B			2	4	2	11	2	25	3	2	51
C		1		2	1	2	6	8	1	1	22
計		3	7	14	8	33	14	58	8	4	149
		3		21		41		72		12	

	A	B	C	計
男	20	9	8	37
女	56	42	14	112
計	(51%) 76	(34.2%) 51	(14.8%) 22	(100%) 149

ミニドック検診結果地区別集計表

	野尻地区		南野尻地区		広塚地用		東石黒地区	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
A	10人	45.5%	11人	42.3%	6人	54.5%	15人	62.5%
B	8人	36.5%	10人	38.4%	4人	36.3%	4人	16.6%
C	4人	18.0%	5人	19.3%	1人	9.2%	5人	20.9%
合計	22人	100%	26人	100%	11人	100%	24人	100%

	安居地区		高瀬地区		南野尻ハウス農家		合計	
	人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
A	8人	38.0%	6人	42.8%	20人	66.0%	76人	51%
B	11人	52.5%	7人	50.0%	7人	22.2%	51人	34%
C	2人	9.5%	1人	7.2%	4人	11.2%	22人	15%
合計	21人	100%	14人	100%	31人	100%	149人	100%

C判定内分け表

性別	年齢	検診所見	指導事項
男	55才	血中コレステロール高値	栄養指導、尿蛋白再検
"	56才	貧血(47.5%)胃精検	栄養生活指導、要医療
"	57才	黄疸指数(18)異常	血圧注意(152/92)、肥満さける、血液再検
"	51才	心疾患	要医療、心機能・胃精検
"	64才	T、B	定期肺検診
"	58才	高脂血症、所見有	栄養指導、TB及び心精検
"	52才	血糖113、尿糖強陽性	糖尿病の精検
女	52才	高血圧、甲状腺肥大	高血圧管理指導、甲状腺機能精検
"	56才	自律神経失調症	要医療
"	57才	心疾患、血色素(75%)	要医療、栄養指導
"	60才	高コレステロール、高血圧(178/110)	食事指導、高血圧管理指導
"	58才	Aℓ-P11.7	頸椎部の腫瘍精検

〃	37才	白血球 2,800、出血斑有	血液凝固係精検
〃	51才	血色素 (56%) LDH高値	貧血治療、栄養生活指導
〃	57才	LDH高値、RA(+) 蛋白(±)	腎機能精検
〃	51才	コレステロール、脂肪高値	尿糖再検、栄養指導
〃	45才	白血球 11,500 ザーリ 71%	扁桃腺肥大、腎機能精検、栄養指導
〃	41才	貧血 (60%) 尿蛋白 (±)	栄養生活指導、尿再検、要治療
〃	29才	貧血強度	要治療、栄養生活指導
〃	56才	肝機能障害	至急精検、病院へ
〃	35才	LDH高値、赤血球白血球減少	病院へ
男	40才	肝機能	病院へ

此の結果を見ますと、半数の人になんらかの異常が認められ、その中でも首位を占める血液中の脂肪、コレステロールの高い人があげられ、次いで貧血、高血圧者が目立っております。

検診を終え、関係者が集まり、事後処理、その対策を協議しました。

次年度の予定として、検診の際には本年度同様、行政機関と一緒に実施する予定

です。

地区婦人学級には、毎月血圧測定、みそ汁塩分調査を行なうこと。

緑黄色野菜の作付指導を積極的に行なうなど。

前回は、全地区を対象に検診したが、地区を定め、重点的に濃密な健康管理活動を行ない、地域への波及を図り、健康で楽しい農村作りにつとめてゆきたいと思っております。